



## プログラム

11月29日（土） 講演会場（山梨県立図書館 2F 多目的ホール）

9:55～10:00 開会式

10:00～11:10 学会奨励賞セッション

座長：石田 晋（北海道大）  
北岡 康史（聖マリ医大）  
徳重 秀樹（千寿製薬株）

- AW-1** 10:00 新生仔ラット網膜においてペリサイト脱落后に生じる抗 VEGF 療法抵抗性血管瘤  
○大塚 健太、尾高 棕介、出口粧央里、森田 茜、柏原 俊英、中原 努  
北里大学薬学部分子薬理学教室
- AW-2** 10:10 マイトファジー促進を介したミトコンドリア機能維持による加齢黄斑変性病態の制御  
○安田 啓人、中村 信介、白川 愛望、久世 祥己、嶋澤 雅光  
岐阜薬科大学薬効解析学研究室
- AW-3** 10:20 All-trans retinalの添加によって誘導される網膜色素上皮細胞死に対する各種ビタミンの異なるメカニズムを介した保護効果  
○柿崎 泰良、菅野江里子、田端希多子、富田 浩史  
岩手大学
- AW-4** 10:30 チャネルキネティクスが視覚再建に及ぼす影響  
○茂泉翔太郎、菅野江里子、齋藤 瑛斗、丸岡 史侑、横山 貴紀、Sunjida Jahan Lina、田端希多子、富田 浩史  
岩手大学 理工学部 視覚神経科学研究室
- AW-5** 10:40 ポリープ状脈絡膜血管症におけるアフリベルセプト8mgとブロルシズマブの導入期治療後経過の比較  
○福田 佳子、櫻田 庸一、古藤田優美、木村 未紗、柏木 賢治  
山梨大学医学部附属病院
- AW-6** 10:50 Investigation of the Pathogenic Mechanisms of Optic Neuropathy Induced by Particulate Matter 2.5  
○陳 婉晶、飯塚 洋子、吉澤 聡子、村松 朋子、柏木 賢治  
山梨大学
- AW-7** 11:00 限局性腋窩多汗症治療薬の関連が疑われた片眼性散瞳の二例  
○大谷 雛瑚<sup>1)</sup>、山根 縁<sup>1)</sup>、藤井 正満<sup>2)</sup>、谷戸 正樹<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 島根大学医学部附属病院、  
<sup>2)</sup> ふじい眼科

## 11:25~12:45 シンポジウム 1

### 網膜・視神経変性疾患の新規標的開拓と治療戦略

座長：小沢 洋子（藤田医大東京・アイセンター）  
原田 高幸（東京都医学総合研究所・視覚病態プロジェクト）

- S1-1 11:25 マクロファージ老化をターゲットとした加齢黄斑変性の新規治療戦略  
寺尾 亮  
東京大学大学院 医学系研究科
- S1-2 11:40 カルシウムを標的とした緑内障の新規治療戦略  
志賀由己浩  
モントリオール大学
- S1-3 11:55 シナプス接合を標的とした新規緑内障治療戦略  
○篠崎 陽一<sup>1)</sup>、松田 恵子<sup>2)</sup>、行方 和彦<sup>1)</sup>、郭 暁麗<sup>1)</sup>、柚崎 通介<sup>2)</sup>、原田 高幸<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 都医学研・視覚病態、  
<sup>2)</sup> 慶應大・Bio2Q
- S1-4 12:10 老化関連疾患である緑内障へのアプローチ  
瀧原 祐史  
熊本大学大学院生命科学研究部眼科学講座

## 13:00~14:00 ランチョンセミナー 1

### 緑内障治療継続のためにできること

座長：溝上 志朗（愛媛大）

- LS1-1 13:00 製剤開発の立場から  
鈴木 夢央  
千寿製薬株式会社
- LS1-2 13:30 臨床医の立場から  
溝上 志朗  
愛媛大学

共催：千寿製薬株式会社

## 14:15~15:15 特別講演 1

座長：柏木 賢治（山梨大）

- SL1 14:15 緑内障の分子病態におけるグリア細胞の役割  
小泉 修一  
山梨大学



## 15:25~16:05 一般口演 1

### 基礎薬理・その他

座長：富田 浩史（岩手大・分子生命医科学）  
高島 由季（順天大・薬学部）

- 1-1 15:25 遺伝性黄斑変性疾患である Malattia Leventinese の病態メカニズム解明および治療法検討  
○井上 由美<sup>1)</sup>、池田 華子<sup>1,2)</sup>、畑 匡侑<sup>1)</sup>、辻川 明孝<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 京都大学医学部附属病院、  
<sup>2)</sup> 大阪医科大学
- 1-2 15:35 県立静岡がんセンターにおける、抗体薬物複合体による眼部副作用対策の現状  
○柏木 広哉<sup>1)</sup>、武隈 宗孝<sup>2)</sup>、高橋 伸卓<sup>2)</sup>、古澤 啓子<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup> 静岡県立静岡がんセンター眼科、  
<sup>2)</sup> 静岡県立静岡がんセンター婦人科
- 1-3 15:45 麻酔下送風による新規ドライアイモデルマウスの検討  
○田川 義晃、西村 萌美、吉田 志帆、村田 美幸、石田 晋  
北海道大学大学院医学研究院眼科学教室
- 1-4 15:55 VDRは水晶体上皮細胞における細胞老化の新規制御因子である  
○谷津 智史、小山 桃果、宮田 佳樹  
帝京大学

## 16:20~17:20 アフタヌーンセミナー

### 緑内障治療の common player $\beta$ ブロッカーを探求する

座長：柏木 賢治（山梨大）

- AS-1 16:20 薬理的立場から見た  $\beta$  ブロッカーの特徴とこれからの役割  
堀之内孝広  
国際医療福祉大学 成田薬学部
- AS-2 16:50  $\beta$  ブロッカー点眼治療のリアルワールド  
柏木 賢治  
山梨大学医学部眼科学教室

共催：大塚製薬株式会社

## 17:30~18:50 教育セミナー

### 眼局所薬の基本と臨床の課題とこれから

座長：東出 朋巳（金沢大）  
鈴木 貴明（山梨大学病院・薬剤部）

- ES-1 17:30 開発者からみた眼局所薬の薬理学的特性と開発上の留意点  
阪元明日香  
参天製薬株式会社 製品開発本部 製品研究統括部 薬理グループ
- ES-2 17:50 眼に作用する薬剤の基礎と薬学的管理について  
鈴木 貴明  
山梨大学医学部附属病院
- ES-3 18:10 臨床眼科医からみた眼局所薬の現在の問題点と対応策  
井上 賢治  
井上眼科病院

ES-4

18:30 これからの眼局所薬の開発展望

原ノ園 祐

千寿製薬株式会社

**18:50～19:10 総会・次期総会長挨拶・学会奨励賞授賞式**



# 11月30日（日） 講演会場（山梨県立図書館 2F 多目的ホール）

## 10:00～10:40 一般口演 2

### 網膜・緑内障

座長：中澤 徹（東北大）  
中原 努（北里大・薬学部）

- O2-1** 10:00 ラット methylglyoxal 誘発網膜傷害においてミューラー細胞のYAPの活性化は網膜の酸化ストレスを軽減する  
○柏原 俊英、奥山 祐未、矢崎真由子、森田 茜、中原 努  
北里大学薬学部分子薬理学教室
- O2-2** 10:10 Tunicamycin 誘発小胞体ストレスはラット網膜における内皮依存性血管拡張作用を減弱させる  
○森 麻美、峰尾 優璃、大口 颯真、瀧本早利奈、恒岡 弥生、坂本 謙司  
帝京大学薬学部 医薬品作用学研究室
- O2-3** 10:20 サルにおける新規FP/EP3受容体作動薬セパプロスト点眼液の眼圧下降作用に対するEP3受容体活性化の寄与  
○谷 侑利<sup>1)</sup>、真木賢太郎<sup>1)</sup>、木村恵利香<sup>1)</sup>、山元 誉子<sup>1)</sup>、不破 正博<sup>1)</sup>、Carol B. Toris<sup>2,3)</sup>、Shan Fan<sup>2)</sup>、島崎 敦<sup>1)</sup>、加藤 雅智<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 参天製薬株式会社、  
<sup>2)</sup> ネブラスカ大学医療センター、  
<sup>3)</sup> オハイオ州立大学ウェクスナー医療センター
- O2-4** 10:30 TNF 誘発視神経障害におけるSARM1の役割と局在  
○北岡 康史、大坪 瑞希、塚原 千広、佐瀬 佳奈  
聖マリアンナ医科大学

## 10:55～11:55 特別講演 2

座長：石田 晋（北海道大）

- SL2** 10:55 製薬企業における眼薬理 ～創薬への思い～  
松木 雄  
参天製薬株式会社 製品開発本部

## 12:10～13:10 ランチョンセミナー 2

### 近視進行抑制治療 Update

座長：柏木 賢治（山梨大）

- LS2-1** 12:10 近年の近視の実態  
柏木 賢治  
山梨大学医学部眼科学教室
- LS2-2** 12:40 リジュセア® ミニ点眼液0.025%の開発における試行錯誤  
— 製剤設計を支えた薬理・薬物動態データの活用 —  
稲葉 隆明  
参天製薬株式会社

共催：参天製薬株式会社

13:25~14:45 シンポジウム 2

これからの眼科領域の創薬の課題と対策

座長：嶋澤 雅光（岐阜薬科大・薬効解析学／  
岐阜薬科大・バイオメディカル  
リサーチ講座）

望月 修一（山梨大・総合研究部医学域臨床  
研究支援講座）

S2-1 13:25 後眼部疾患に対する低分子創薬アプローチ

嶋澤 雅光<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 岐阜薬科大学生体機能解析学大講座薬効解析学研究室、

<sup>2)</sup> 岐阜薬科大学バイオメディカルリサーチ講座

S2-2 13:40 ドラッグ・ロス解消に向けた国及びPMDAの取り組み

有馬 充

医薬品医療機器総合機構

S2-3 13:55 後眼部疾患に対する創薬の実践と展望 ― 神経保護薬の開発経験から

池田 華子

大阪医科薬科大学

S2-4 14:10 SaMD（プログラム医療機器）について

加藤 浩晃

デジタルハリウッド大学大学院／アイリス株式会社

14:45~14:50 閉会式